

事業所における自己評価結果(公表)

別紙 3

公表:平成31年2月22日

事業所名:光愛りんごハウス

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・体制整備	① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		・人数が多くなると、狭く感じることもあるが、個人用のマットを置いたり、仕切ったりして工夫して使っている。	・スペースを考え、人数を調整したり、テラスや廊下を活用している。
	② 職員の配置数は適切である	○		・母子分離の児や活動内容に合わせて事務・療育に入る職員数を調整している。	・分離の際は基本的には一人つけるようにしており、職員が多い時には事務作業を行っている。
	③ 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	○		・同じ空間を使っているものの、机を出したり、仕切りを使ったりしてわかりやすく提示している。 ・活動の流れや内容が少しでも入りやすいよう絵や写真を用いて提示するようにしている。	・階段や段差も多い為、バリアフリーに関しては課題があるように感じる。
	④ 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	○		・子ども達が安全に活動を行えるように危険な箇所等に物を置かないなど、職員間で連携を行っている。 ・清掃を徹底しその日の気温、天候に応じて室内の温度設定、換気等に配慮している。 ・定期的に清掃し、活動内容に合わせて装飾や自由遊びでの設定など一日ずつ考えながら環境を作るようにしている。 ・毎日掃除をして清潔さを保てるよう努めている。活動に合わせて使い分けしている。	・空間の狭さゆえに工夫を多く、より本格的な模様替えを行わなければならないと思う。
業務改善	⑤ 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○		・正職員に関しては年度末に振り返り、次年度の目標を書く機会があり、常勤・非常勤も毎年振り返りシートを記入。	・改善が必要と感じたところについて都度意見を出し、対策に努めている。
	⑥ 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなけている	○		・評価表等ではなく、意見を頂いた際にその都度対応している。 ・今年度評価表を配布した。保護者からの意見については取り入れている。	・保護者からの評価は口頭でしか受けていない気がする。 ・今後毎年評価表により業務改善に努めたい。
	⑦ 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		・保護者からのアンケートを回収しており、今後集計し、ホームページで公開する予定である。	・役割として割り振らなければ対パソコンにおける苦手意識はなくならないと思うので、一度講習会を行い、共通認識として情報公開の意識を高めたほうが良いと感じる。
	⑧ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている			該当なし	該当なし
	⑨ 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		・職員が異なる研修を受ける機会があり、その報告により他職員も情報を得ることができる。 ・年間に一度は研修に行くことができるよう計画を立てている。 ・研修の機会を設けている。	
適切な支援の提供	⑩ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	○		・3歳以上児は年1回、未満児は半年に1回を目途に発達検査を行い、その結果も参考にして計画を作成している。	
	⑪ 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		・臨床心理士に新版R式発達検査方法で検査を実施してもらっている。	
	⑫ 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	○		・子どもの状態に合わせて職員間で話し合いをしながら、具体的な支援内容を設定している。	・地域支援については不足していると思う。 ・ガイドラインの内容を把握しきれていない為、適切に選択されているかわからない。 今後、児童発達ガイドラインについてより研究したい。

関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	○		・職員で児についての状況や課題を確認しながら支援を考えている。 ・日々の活動の反省などで児の様子と合わせて支援計画に沿った対応ができるよう話し合っている。 ・計画を基に支援している。	
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っている	○		・朝礼やミーティング時に職員で案を出し合っている。 ・交代で活動を立案し、不備や別の案がないか複数で確認している。 ・活動の内容についても職員間で話し合っている。	
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		・前回の反省を踏まえて、改善と工夫に努めている。 ・ゆっくりとだが工夫している様子。 ・季節や成長に合わせた活動ができるよう、月の活動を組んでいる。 ・様々な職員が立案することで固定化しないようにしている。	
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	○		・児の発達指数や活動内容を考えながら、それぞれに合った支援を計画している。 ・内容や年齢により、個別活動を組み合わせている。	
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		・毎朝全員でミーティングを行い、流れや留意すべき点、子ども一人ひとりに合った対応の仕方等、情報を共有している。 ・必ず打ち合わせをして、共通理解を図っている。	
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		・活動の流れに沿って反省会を毎回行い、一人ひとりに対する支援、課題を共有している。 ・反省を行い、それぞれに気付いたこと、児の様子を発言し、共有している。 ・必ず振り返りをし、職員間で共有している。	
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		・個別に毎回記録し、定期的にその成長や課題の検討に役立っている。 ・一人ずつ個人記録をつけ、細かく状態、課題などを記入するようにしている。 ・日誌の中に気になるエピソード等入れながら記録している。	
	⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	○		・定期的に支援計画を見直し、児に適した計画を立てている。 ・モニタリングを行い、見直しを行っている。	
	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		・代表が参加し、詳しい職員に尋ねることもある。	
	㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	○		・母子保健課主催の事業調整者会議等には必ず参加し、他施設の取り組みや、こども総合療育センターからの情報などは得るようにしている。	・関係者との連携は不十分に感じる所もある。 - 今後、より多くの社会資源を知り、療育の内容向上につなげたい。
	㉓	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている			・該当児なし	・該当児なし
	㉔	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている			・該当児なし	・該当児なし
	㉕	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		・就園の際にはできるだけ児の様子を伝えに行ったり、園の行事に足を運び、児の集団での様子を見たりと心掛けている。 ・学校の先生に来て頂いたり、幼稚園の先生に伝達する等している。母体が保育園なので、保育園とは、日常的に情報を共有し、相互理解を図れている。	
	㉖	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		・小学校に連絡し、児の様子を伝える移行支援を行っている。 ・小保連絡会に参加し、情報提供をしている。	
	㉗	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○		・公開療育の中で助言を頂いている。 ・児童発達支援センター主催の研修会に参加するなど、研修を重ねている。	
	㉘	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	○		・保育園に行き、園庭で一緒に遊んだり、もちつき大会と一緒に参加するなどの機会を設けている。	

保護者への説明責任等	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している		○		・なかなか参加できていない実態がある。 ・今後積極的に参加したいと考えている。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達状況や課題について共通理解を 持っている		○	・日々の活動の様子を保護者と直接話したり、連絡帳でやり取りすることで、子どもの状況や成長について共通理解をすることができている。 ・普段から子どもについて保護者と話をしている。	・療育の様子を伝え、課題も状況を見ながら伝えてはいるが、保護者によっては伝わりにくい所がある。
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている		○	・個別に保護者相談への支援をおこなっている。	・ペアレントトレーニング研修については、今後、検討し取り入れていけるようにしていきたい。
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている		○	・契約の際に伝えている。 ・初回で丁寧に説明している。	
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている		○	・ガイドラインについて勉強不足な所もあるものの、保護者への支援計画の同意は定期的に得ている。 ・保護者に説明した上で同意を得ている。	
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている		○	・定期的に個人面談を行っており、保護者からの相談があればその都度話をし、必要な支援を行っている。 ・保護者の様子を見て声を掛けたり、保護者の希望を聞いて面談を行っている。 ・普段の会話から、悩んでいる様子があれば相談に応じている。	
	35	父母の会の活動を支援したり、保護i者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		○	・保護者会を定期的に実施し、保護者間で共通の悩みやそれぞれの悩み等話す機会を持つことで、保護者同士も連携を取れるようにしている。 ・保護者会を開催する中で、保護者同士の連携を図っている。	・父の会はなかなか行えていないので、今後検討したい。 ・定期的に保護者懇談会を行い、悩みを共有したり、先輩ママの話を聞く機会を作ったりしている。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している		○	・相談等あった場合は速やかに対応している。	
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している		○	・毎月活動内容や行事などの連絡をする会報を出している。 ・毎月、月報を発行し、行事の日程はできるだけ早く伝えられるよう心掛けている。 ・月報を配布し、周知に努めている。	
	38	個人情報の取扱いに十分注意している		○	・職員全体で個人情報の取扱いについては、徹底している。 ・注意している。	
非常時等への対応	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている		○	・代弁できるところは代弁して伝えている。	
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○	・地域住民の招待まではできていない所があるが、日ごろから挨拶をしたり、行事の時に終了の報告をするなど、コミュニケーションを取っている。	・行事への招待など検討している。
	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している		○	・定期的に活動に避難訓練を入れて、実施している。	
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出 その他必要な訓練を行っている		○	・毎月避難訓練を行い子どもの避難経路、職員間の動き等確認し、もしもの時に備えている。 ・月に1回、活動として避難訓練を行っている。 ・定期的に行い、対応が定着しつつある。	
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している		○	・年度がスタートする際に、連絡表を記入して頂き、子どもの状況を定期的に確認している。 ・てんかん発作や犬アレルギー等確認している。	

④④	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○		・該当児が今の所いない。 ・保護者と話し、日頃の食生活を聞き、アレルギーに対するの対応をし、給食からも除くようにしている。 ・アレルギーのある場合は、診断書をもとに保護者と相談しながら除去食で対応する。	
④⑤	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		・作成し、掲示板にはり出している。	
④⑥	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		・園内において研修を行っている。	・虐待研修に関しては行っていない所があるので、検討、対応していきたい。
④⑦	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得たうえで、児童発達支援計画に記載している	○		・未だ身体拘束を行うほどの児と出くわしていない。 ・最初の契約時に、保護者には十分説明をして了解を得ている。	

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。

保護者等からの事業所評価の集計結果(公

別紙 4

公表:平成31年2月22日

事業所名:光愛りんごハウス

保護者等数(児童数)36世帯 回収数

割合80.5%

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	○				内容によってはもう少し広げればと思う。	広々とした環境が整えられているという意見もあったが活動内容によっては狭いと感じる場合もあると思うのでより工夫したい。
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	○				十分に配置されており、個々に応じた対応をしている印象。	定数より多くの職員を配置している。
	③	生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	○				子どもが目で見えて何をするのかすぐわかるような環境が作られているように思う。	階段や段差等がある為、環境を工夫し、整えたい。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境となっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	○				子どもが目で見えて何をするのかすぐわかるような環境が作られているように思う。	ほとんどの保護者に納得して頂けている。引き続き清潔に努め、活動に合わせた空間づくりを心掛けたい。
適切な支援の 提供	⑤	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	○				目に見えてわかるわけではない部分もある。	計画について今までより詳しく丁寧に説明をし、理解を得たいと考える。
	⑥	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	○					
	⑦	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	○					
	⑧	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	○					
	⑨	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	○					
保護者への 説明責任	⑩	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	○					
	⑪	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	○					
	⑫	保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)が行われているか	○				子どもの様子に沿ったかわり方、子供が主役と思えるような、自信となるような言葉かけが多くとても参考になります。	家族支援(母親との面談など)は行っているものの、ペアレントトレーニング等は行っていない為、今後検討していきたい。

	⑬	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、 子どもの発達の状況や課題について共通理 解ができているか	○				仕事で分離になることが多く ても帳面等を通して、いつも とても丁寧に子供の様子・こ ちらの心配事や気になること 等について伝えて下さりあ りがたいです。	母子通園ということもあり、 日頃から保護者と話して いるものの課題につい て伝わり辛い所もある為、 解りやすく伝えられるよう 努めたい。
	⑭	定期的に、保護者に対して面談や、育児に 関する助言等の支援が行われているか	○					
	⑮	父母の会の活動の支援や、保護者会等の 開催等により保護者同士の連携が支援され ているか	○				相談できる人が増えた。定期 的な保護者会の開催で同じ悩 みを持つ保護者と話ができ る。	保護者会は決まったメン バーになりがちなので、年 間計画を立てて提示し、仕 事の都合をつけやすいよう 工夫し、又、父親の保護者 会についても検討したい。
	⑯	子どもや保護者からの相談や申入れについ て、対応の体制が整備されているとともに、子 どもや保護者に周知・説明され、相談や申入 れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	○					
	⑰	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達 のための配慮がなされているか	○				園との連携が丁寧でありがた い。	
	⑱	定期的に会報やホームページ等で、活動概 要や行事予定、連絡体制等の情報や業務 に関する自己評価の結果を子どもや保護i者 に対して発信されているか	○					
	⑲	個人情報の取扱いに十分注意されているか	○					
非常時 等の 対応	⑳	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感 染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周 知・説明されているか。また、発生を想定した 訓練が実施されているか	○					保護者への周知が徹底され ていない点もある為、周知 に努めたい。
	㉑	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救 出、その他必要な訓練が行われているか	○				活動の中で楽しみながら負担 なく取り組めて助かっている。 視覚的支援がわかりやす い。	毎月実施する避難訓練に関 して、全保護者納得して頂 けている。
満足 度	㉒	子どもは通所を楽しみにしているか	○				とても楽しみにしている。療 育の日は家庭でも落ち着いた 様子が見られる。様々な体験 ができ、満足している。	結果に甘んじることなく、 子ども達や保護者に感謝 し、さらなる創意工夫にて 療育の質の向上に努めた
	㉓	事業所の支援に満足しているか	○				満足している。いつも温かい 雰囲気。良い面だけでなく、 保護者が気になっている面 に対しても教えてもらえる。	ほとんどの保護者は満足し て頂けているものの、課題 に対する達成度や専門分野 での説明など、専門の先生 の助力も借りながら、より 満足度の高い支援になるよ う努めたい。

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)」は、保護i者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。

